

会議録要旨

(1) 会議の名称	第5回 越前市中心市街地活性化基本計画策定委員会
(2) 開催日時	平成28年4月27日（水曜日）午後7時～午後9時
(3) 開催場所	越前市役所 2階 大会議室
(4) 出席委員氏名	野嶋委員長、金田副委員長、西藤委員、山口委員、 村田委員、藤谷委員、清水委員、小形委員、梅田委員、 能勢委員、三崎委員、河端委員、實田委員、田中委員
(5) 欠席委員氏名	黒田委員、坂口委員、石井委員、長田委員
(6) 出席オブザーバー氏名	福井県 商業振興・金融課 桑原総括主任 野澤主査 久野課長 南土木事務所道路課
(7) 出席所管課職員職氏名	建設部 鎌谷部長、小泉理事 都市計画課 平野課長、松村副課長、中谷主幹 建築住宅課 石本主査 商業・観光振興課 川邊副課長
(8) 会議議題	報告協議事項 （1）先進地視察（大野市）報告について （2）中心市街地活性化基本計画の改定スケジュールについて （3）まちなか商店街活性化プランについて （4）新庁舎建設基本設計について （5）中心市街地活性化基本計画（素案、概要）について その他 （1）住まい情報バンクについて
(9) 傍聴者の数	1名
(10) 会議資料の名称	第4回策定委員会会議録要旨 資料1 大野市中心市街地視察（報告資料） 資料2 中心市街地活性化基本計画 改定スケジュール 資料3 まちなか商店街活性化プラン 資料4 中心市街地活性化基本計画素案 資料5 中心市街地活性化基本計画概要
(11) 会議の内容の要旨	<p>■委員からの主な意見（計画素案に対する意見）</p> <p>【①武生という言葉の取り扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画素案の中で「武生」という言葉の使い方について、必要に応じて注釈を入れた方がよい。 <p>【②表参道のイメージに関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総社の表参道の整備について、具体的な計画が今後必要となる。 ・商店街活性化プランにおける具体的なイメージは、まちなかプラザから旧武生信用金庫の本店をイメージしている。 ・表参道は、全体として総社からJR武生駅までを考える必要がある。 ・表参道をまちづくりの一つの武器として、産業活性化という視点と定住の視点を入れていくのがよい。 <p>【③住宅施策に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策は多く手間と時間がかかり、現場の実態について認識が必要である。 ・空き家に関してはリフォーム等の活用ができるものと、解体しなければならないもの

- があり、伝統的な町屋や蔵は骨董的な価値が高く、すみ分けをして対応すべきである。
- ・越前市は「働く場所」で住んでいないという傾向がある。

【④総合的な定住対策について】

- ・中心市街地では個店が対象となると思われるが、物販だけでなく伝統工芸もあるので、様々なビジネスチャンスのトライアルの場とする必要がある。

【⑤武生の顔づくりに関して】

- ・武生の顔づくりに関して、大きな目で見たとときに、もっと産業の方に目を向け、市内の企業の職員が市内に定住するよう各種住宅制度をPRすべきである。
- ・庁舎の基本設計や、北府駅ミュージアムなど、具体的な絵が出てくると良い。
- ・市庁舎の建替えをチャンスとした市庁舎一帯がメインのプロジェクトであり、さらに波及効果を生み出していくと思う。
- ・大野市の天空の城の風景は、気候条件が整ったときに見ることができ、それが観光の目玉になっている。
- ・計画の5年間でこれをやりたいというものが一つ欲しい。
- ・若い人をつなぎとめようと思うのなら、イメージ戦略が重要であり、鯖江を例にとると、眼鏡を扱う会社は今はファッション産業の一部となっており、武生にもそういうイメージがほしい。

【⑥計画づくりに関して】

- ・計画は多分このような形でよいが、例えば観光に関する取組みは観光協会、まちづくりに関する取組みはまちづくり会社が受け皿になり、負荷をかけすぎないことも大切である。
- ・観光協会の充実やまちづくり会社の充実というところも重要で、体力を備える必要がある。
- ・次の50年に向けて、まちづくりをするための人づくりが一番のキーワードになる。
- ・南越駅が平成35年春に開業するので、今までの武生駅周辺がどうなるか、対策を講じなければならない。

(11) その他	特になし
----------	------